

こんな本よんでみましょう

(解題)

1. 『世界のだっことおんぶの絵本』(38)



みなさんも 赤ちゃんの時には だっこやおんぶをされてきましたよね。もしかしたら いまも時々^{ときどき}されてるかな?だっこやおんぶって 赤ちゃんも大人も とても^{おとな}安心^{あんしん}する 幸せ^{しあわ}な姿^{すがた}ですね。

この本では世界 11カ国の おんぶやだっこのようすや 暮らしを知ることができます。中央^{ちゅうおう}アフリカの熱帯^{ねったいうりん}雨林にすんでいるボンヨは おじいさんにだっこされています。おとうさんがミツバチの^す巣をみつけてはちみつをとるところです。ボンヨもこうして おとなたちのなかまいりをしているのですね。

2. 『さかなのたまご』(487)



おたまじゃくしのたまごは みなさんしっていますよね。でも みずのなかには もっとたくさん いろいろなさかなのたまごがあるのです。かわやみずうみでくらす たんすいぎょは どのようにして たまごをまもっているのでしょうか。さかなたちは いろいろなくふうをしています。たとえば タナゴは2まいのからをもつ かいのなかに たまごをうみつけるし サケはたまごを かわぞこの じゃりにかくすんですって。ほかにも「すごいなあ」とおもうような まもりかたが たくさん しゃしんでみるすることができます。

3. 『くらやみのなかのゆめ』(E2)



クリスは、まっくらやみが こわくてたまりません。だって、エイリアンたちがやってくるかもしれないから・・・。

そんなクリスのゆめは、うちゅうひこうし になることでした。ある日、クリスは ほんものの うちゅうひこうしが ^{つき} 月におりたつ テレビをみてびっくりします。だって、うちゅうが こんなにまっくらだなんて しらなかったから。この日からクリスはかわります！ やみのなかで クリスのゆめは、どんどんふくらみ・・・。

ほんもの ^{うちゅうひこうし} 本物の宇宙飛行士クリス・ハドフィールドがかいた ^{うちゅう} ^{みりよく} ^{えほん} 宇宙の魅力がたっぷりの絵本です。

4. 『ちょろりととっけー』(E1)



とかげの ちょろりにきたのは、なつやすみに いとこの ちょさりんのうちへのおさそいの てがみ。

はじめは ひとりででかけたちょろりんでしたが、おとうとの とっけーも あとからそっと ついてきて・・・

さあ、ふたりのぼうけんの はじまりです！おじいちゃんに かいてもらった ちずをとちゅうでなくして おまけに とっけーともはぐれてしまい、ピーンチ！

さて、ふたりは ぶじに ちょさりんのうちにつけるのかな。はらはらときどきのおはなしです。

5. 『サイモンは、ねこである』(E2)



「こんにちは。ぼくサイモンです。

ぼくたち、にてますね」

こねこのサイモンは、ライオンやトラたちに、こうはなしかけて大わらいされてしまいます。

でもね、するどい は、とがった つめ、まっくらやみでも よく みえる おおきなめ……。

おやおや、なんだかほんとうににてるみたい。大きさはちがうけど、みーんなおんなじねこなんだ！

6. 『千びきおおかみ』(JAムラ)

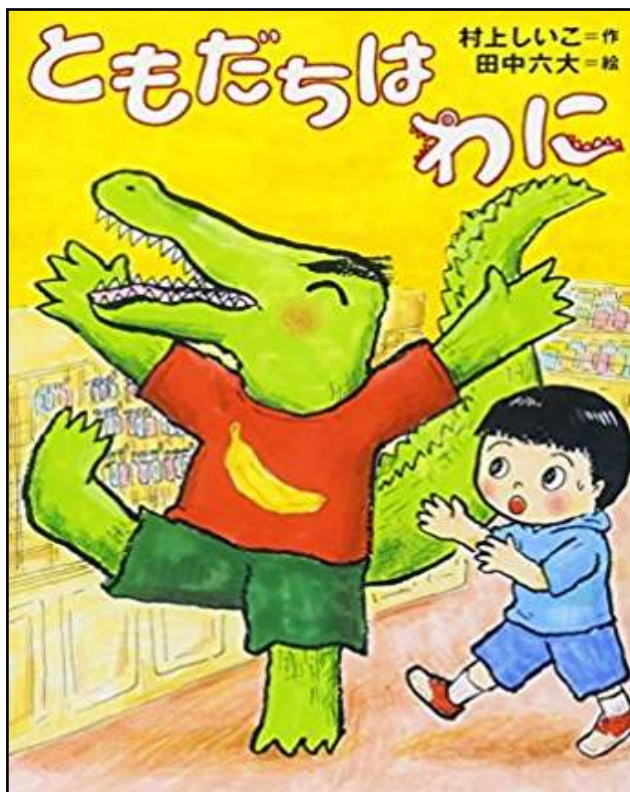


まっくらな山の中、木の上で一夜を明かすことにした商人でしたが、夜中になると、木の下には商人をねらう、おおかみの群れが・・・！おおかみたちは、はしごのようにつらなり、その上をしっぽがふたまたにわかれたおそろしい猫又がかけあがってきたのです！！

息をのむ展開の表題作「千びきのおおかみ」のほか、この本には「くもの化けもの」「子育てゆうれい」など、日本のこわいおはなしが6話はいっています。

夏は、こわいおはなしですすしくなろう！

7. 『ともだちはわに』(JA 67)



にんげんのしのぶには、わにのともだちきよしくんがいます。ふつうにおしゃべりしたり、あそんだりするけど、けっこうやんちゃでしっばいもするから、しのぶはハラハラすることばかり。ぜんぜんへこたれないきよしくんにみえていたけど、じつはよわみがあって、それをなきべそかいてうちあけられたときに、おたがいにほんとうになかよくなれたみたいです。クラスメートのかすみちゃんのたんじょうびのプレゼント、しのぶのかがえてたのとは、だいぶちがったものになったけど、かえってとてもよろこばれたよ。さて、なんだったでしょう？

8. 『猫魔ヶ岳の妖怪』(E7)



福島県の伝説が4話はいっています。磐梯山の西に妖怪のすむ山がありました。奥がたを妖怪にさらわれた殿さまはうでのいいりょうしに妖怪たいじをめいじました。けれどもりょうしは妖怪が何ものかわからなければ鉄砲はうてないとその山には行って小屋をつくり暮らし始めました。するとそこにいっぴきのねこがあらわれりょうしはこのねこをかわいがっていっしょ暮らしことにするのですが・・・

ほかにも「天にのぼった若者」「大杉とむすめ」「おいなりさまの田んぼ」など不思議なおはなしがあたたかみのある絵であらわされています。

9. 『グリムのむかしばなし』Ⅰ (JB38)



森にすてられた兄妹が、^{くら}暗い森をさまよいみつけのは、ケーキやクッキー、キャンディなどでできたお菓子の家でした！でも、そこにすんでいたのは子どもを食べるわるい^{ましよ}魔女だったのです…！！

^{ひょうし}表紙の挿し絵のお話し「ヘンゼルとグレーテル」にはじまり、「かえるの王子」「シンデレラ」など、この本には7つの昔話が^{しょうかい}紹介されています。

^{おさな}幼いころから たっぷり昔話を聞いて育った絵本作家ガアグの 生き生きとしたおはなしとコミカルな^さ挿し絵で、ひと^{あしちが}味違うグリムの世界を楽しんでみませんか

(『グリムのむかしばなし』Ⅱ もありますよ！)

10. 『フングリコングリ』(オカ)



アスカは一年生。算数の時間、たし算の^{れんしゅうもんだい}練習問題が終わったアスカは 余った時間で^{ゆびあそ}指遊びをはじめました。右手の人差し指と左手の親指をくっつけて、それよりも少し上のところで、右手の親指と左手の人差し指をくっつける。「フングリコングリ」という遊びです。ところが、それをくりかえしているうちに アスカの体は^{ちゅう}宙にうきはじめ みるみるうちに 教室の^{てんじょう}天井にすいこまれていったのです。さあ たいへんみんなはアスカをおいかけるのですが”・・・ほかにも^{とうめいじんげん}透明人間になる話や カエルになった寺西君の話など 学校で^お起こる楽しい話が 6話 はいっています。

11. 『パイパーさんのバス』(クラ)



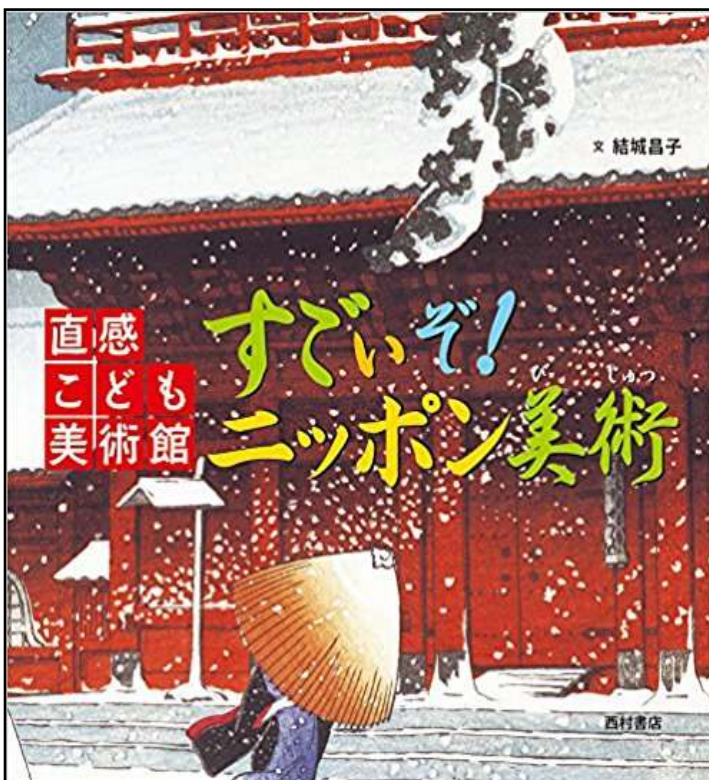
バスの運転手のパイパーさんは、バスが大すきでした。でも、家族がいないので家に帰ると1人きり、ちよっぴりさびしいな・・・と思うこともあります。そんなある日、パイパーさんのところに1ぴきのまよい犬がやってきます。さらに、ひよこや、ネコのおくさんもくわわって、家の中はにぎやかになりました。もう、さびしくありませんね。

ところが、大家のおかみさんに「動物たちをどこかにやらないと、追い出しますよ!」と言われてしまい・・・。

仕事を休み、古いみどり色のバスで、動物たちの新しい家をさがしに出かけたパイパーさん。

さて、動物たちに ぴったりの家はみつかるのでしょうか？

12. 『すごいぞ！ニッポン美術』(70)

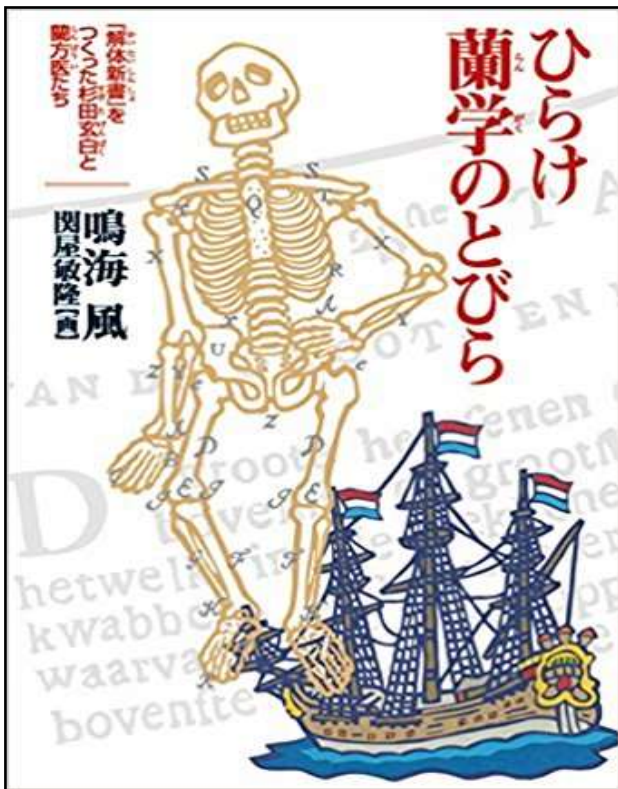


この本は、世界の名画を 紹介した『見てごらん！名画だよ』の日本編として 作られたものです。

ただ一色の墨で 描かれたふすま絵の 龍の迫力や 生きものみたいな 海の波のすごさ、真っ赤なお寺の門に 雪がしんとふる 静けさなどを こんなにも 豊かにあらわしてきたなんて、日本の美術は なんてすごいんだろう！

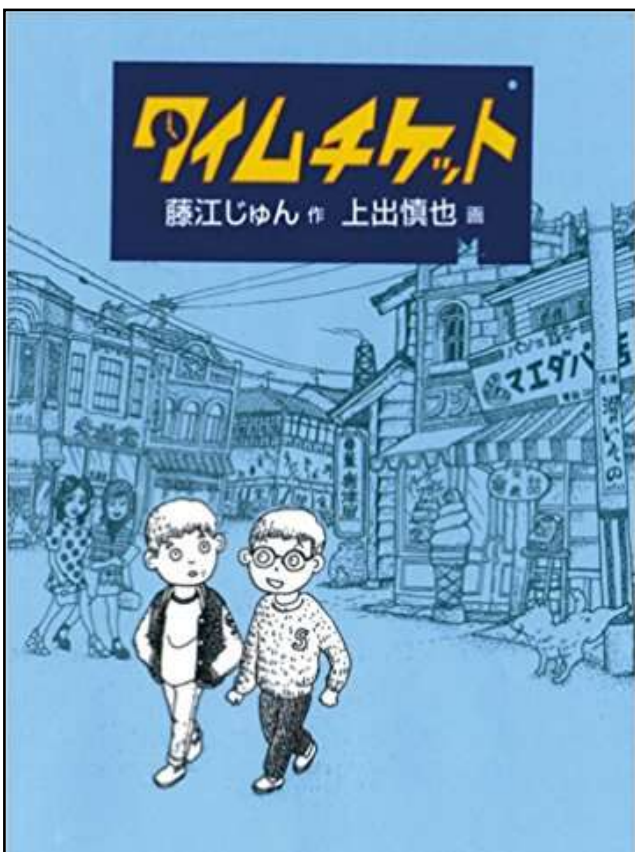
それを子どもたちに向けて、アートディレクターの結城昌子さんが、国宝を中心に 24点の 絵や作品が どんなふうに鑑賞されてきたか、どんな価値があるかを やさしい語り口で 解説しています。

13. 『ひらけ蘭学のとびら』(28)



オランダの解剖書を翻訳した『解体新書』を作った杉田玄白と蘭方医たちのお話です。幼いころから玄白は大切な人たちとの別れの連続でした。母親は、玄白を産んだ時に亡くなりました。弟のようにかわいがっていた犬の四朗も病気で死にました。その後も次々と大事な人たちが死んでゆくのす。藩医である父がいても救えないのち。その現実を前にして、玄白は医者になることに疑問を持ちます。このとき 姉の奈美の言葉に思いを新たにすのです。やがて玄白は江戸で町民の診療をはじめ とうとう腑分け（解剖）を見る機会に恵まれます。何かを成し遂げることの わくわくした思いが伝わる一冊です。

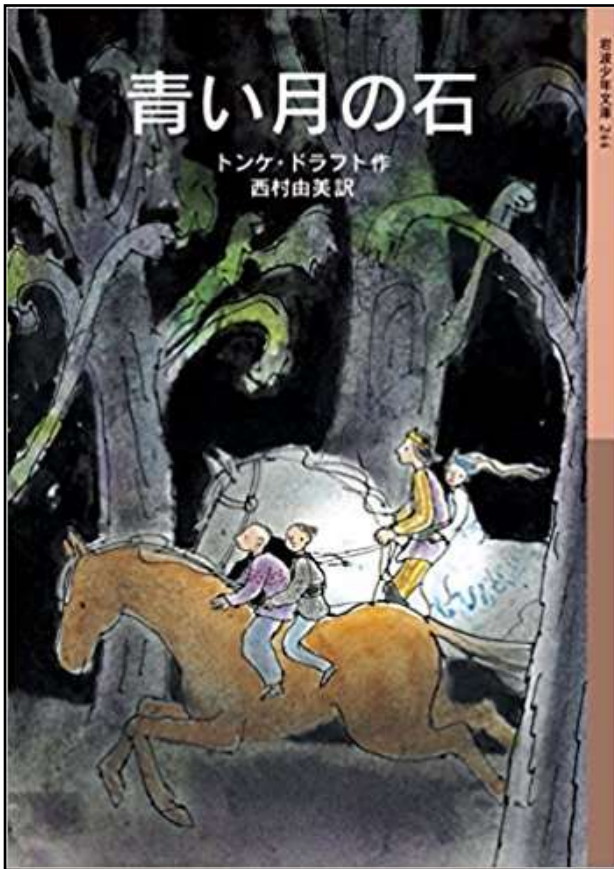
14. 『タイムチケット』(フジ)



マサオが 熱中しているしゅみは きっぷ集め。今ほしいのは、きっぷの日付が 自分のたんじょう日の昭和44年4月4日の数字4がならんだもの、ずっと前だから むりかなあ。そんなある日、耳の黒いねこにみちびかれるように歩いた先に、「タイムチケット」なるものを 手に入れた。それはのぞんだ日付をかきこむと その日にとべるという 時間旅行への招待状なんだって。うたがいながら書いてみたら、なんとその日にとんじゃった！さて、マサオはそこで だれにあったと思う？

今の自分だけじゃなく、まわりの人たちも見直すことができた、すてきなきっかけになったよ。

15. 『青い月の石』(Bドラ)



この物語は、日本の「はないちもんめ」のようなオランダの古い遊び歌から始まります。

どこから来たの？

マホッフ、マホッフ、マホッヘルチェ

子どもたちの歌う この歌が、マホッヘルチェを呼び出してしまったのか・・・！？

ある昼休み、学校の校庭の地面がおし上げられ、マホッヘルチェが現れました。いじめられっこの少年ヨーストは勇気をふりしぼり、1人でつづきを歌います。

ぼくに何をもって来てくれた？

マホッヘルチェは答えます。

きらめく青い月の石

「青い月の石」とはなんなのか？それを手に入れるためには、マホッヘルチェが支配する地下世界へ行かなければなりません。どうする、ヨースト！

地上と地下を駆けめぐる魔法と友情の大冒険のはじまりです！